

# 一人の手

第21号

発行日 平成十八年七月一日  
発行所 佐藤ひろゆき後援会  
〒987-0024 鶴岡市朝陽丘10-111  
所在地 〒985-24-3402 FAX 25-2713  
電話 〒987-0025 鶴岡市日田一丁目廿六  
〒985-25-1411 FAX 25-1411



## ユニバーサルデザインの 考え方を 施策の基本に

バリアフリーは既存のものからバリアを取り除く、という後述の雰囲気がある。そうではなく、ものの開発の最初段階から、障害者を含む多様な人のことを公平に考えるべきというのが、ユニバーサルデザインの考え方です。

なぜ、ユニバーサルデザインが必要か、個人の特性とはいつも同じであり続けることはありません。年齢を重ねていくことで、老眼になって小さい文字が読めなくなったり、小さな音が聞きづらくなります。女性であれば妊娠して歩くことも大変になるし、お年寄りや身体に障害をもつ人が駅の階段を上り下りすることは大変です。また、一時的にけがをして松葉杖を使ったり、場合によっては、車椅子を使用することがあるかもしれせん。

このような変化の多い個人の特性ごとにも合うものをデザインしていくことは、大変時間とコストがかかります。したがって、はじめからいろんな個人の特性を考慮してデザインしていれば、個人がどんな特性を持っていても柔軟に対応できるようにあります。

私は、本市の基本施策のひとつとして、「ユニバーサルデザインのまちづくり」を取り入れるよう、六月定例会で提言しました。



▲ ユニバーサルデザインを取り入れた  
▼ 酒田市日の出公園

## 総合健康福祉センター(仮称) 年度内に基本計画

6月定例会の一般質問で、「総合健康福祉センター(仮称)」の建設整備事業について質問しました。これは、平成16年6月に続いて2度目で、その後の進捗状況や具体的な方針を訊きました。白井健康福祉部長は、「建設場所は東町のNTT跡地を予定し、建設予定地の敷地面積は約5、1500㎡で、3階建てとなり、各種健康事業、健康づくりのための機能訓練や保健サービス、子育て支援のための総合相談窓口、親子の交流スペース、障害者のための総合相談窓口、医療機能として休日夜間診療所、地域福祉の拠点として、社会福祉協議会、地域住民の交流スペースなどの併設を検討している。」と答えました。スケジュールとしては、今年度内に「基本計画」を策定し、設計から建設までに1年半ぐらい要する。ということなので、オープンは早くも平成21年度になります。



建設予定地

建設予定地は、平成16年6月に続いて2度目で、その後の進捗状況や具体的な方針を訊きました。白井健康福祉部長は、「建設場所は東町のNTT跡地を予定し、建設予定地の敷地面積は約5、1500㎡で、3階建てとなり、各種健康事業、健康づくりのための機能訓練や保健サービス、子育て支援のための総合相談窓口、親子の交流スペース、障害者のための総合相談窓口、医療機能として休日夜間診療所、地域福祉の拠点として、社会福祉協議会、地域住民の交流スペースなどの併設を検討している。」と答えました。スケジュールとしては、今年度内に「基本計画」を策定し、設計から建設までに1年半ぐらい要する。ということなので、オープンは早くも平成21年度になります。



## 本市の少子高齢化の現状は

近頃、昨年の日本の合計特殊出生率が1.25と発表され、少子化に歯止めがきかない現状と、65歳以上が21.0%と世界最高になる一方、15歳未満は13.6%で世界最低となったことが判り、衝撃が走りました。

では、本市の少子高齢化の現状はどのようになっているかという、本市の18年6月現在の人口に占める65歳以上の高齢者は、26.7%となっており、一方、15歳未満は13.6%であり、将来の産業、福祉、まちづくり施策等市政の重要な要素です。対策が急がれます。

## 療養病床から介護施設へ転換

6月定例会において、共産党議員団から出された「療養病床削減に反対し、入院・介護施設充実に関する意見書の提出を求める」議案に対して、会派を代表して反対討論をしました。このことに対して、市民から匿名の手紙が寄せられました。誤解が生じるといけませんので、私の考えを申し上げます。

先の国会で、医療制度改革関連法案が成立しました。その中のひとつ、「療養病床再編計画」において、「老人病院」ともいわれる療養病床には、医療保険から費用が支払われる医療型(25万床)と介護保険から支払われる介護型(13万床)があるが、今後6年かけて介護型を全廃、医療型は15万床に削減するというものです。厚労省によると、両型とも「医療がほとんど必要な」の患者は5割に達しているが、この実態が「社会的入院」と呼ばれ、医療費をかさ上げする弊害といわれてきたものです。減る23万床は、老人保健施設や有料老人ホーム等へ転換したり、在宅へ移行してもらおうという計画です。

現在、一人当たり1ヶ月にかかる費用は、有料老人ホーム25万円前後、特別養護老人ホーム32万円、老人保健施設33万円であるのに対して、介護型は44万円、最も高い医療型は49万円もかかり、特養より17万円も多くかかっています。

無駄な医療費を減らし、本当に必要とする人に適切な医療を施す仕組みへ変えていくことは、時代の流れであり、国民皆保険制度を持続させるためには必要なことと考えます。

ただ、国の財政再建が優先し、医療の中身が悪くなったり高齢の患者が切り捨てられたり、絶対にあってはならないことで、阻止しなければなりません。国も、介護施設整備のために、医療機関の転換のための財政支援や老人保健施設、特別養護老人ホーム等の設置基準の見直しを行うとしています。

## 「藤沢周平記念館(仮称)」 基本構想まとまる

記念館建設予定地は、鶴岡公園内の、現郷土資料館周辺で、土地の面積は、1,300㎡、施設面積は、700~1,000㎡の予定です。施設構成は、常設展示室、企画展示室、交流サロン、体験学習室、収蔵庫・書庫、展示準備室、事務室などです。機能は、資料の収集・保存、調査研究、展示公開、情報提供、サロン、学習などです。平成19年度着工を目標にしています。



4月4日 市内議会保育局入式

## 市内循環バス伊勢原町に乗り入れ

私が、かねてから住民の強い要望を受けて、町内の方々と一緒に運動を進めておりました、市内循環バスの伊勢原町内での運行が、ついに、6月からダイヤ改正で実現しました。運行開始となる6月1日は、朝8時6分到着の第1便を町内の関係者20名ほどの方々と一緒に歓迎のセレモニーを行い迎えました。

町内に5箇所の停留所ができ、1日2コース延べ16回乗り入れされます。町内の多数の方々から「便利になった」との声が寄せられています。



6月1日 開通を祝ひ

## 今の子どもは 何かを訴えている

最近、毎日のように、親が子どもを、子どもが親を、殺すなどの家庭内の事件が報道されます。これらは、家族・家庭の崩壊、地域コミュニティの喪失などが招いた現代社会の危機だと考えます。最も弱い立場に置かれた子どもは、社会の不合理も矛盾も鏡のように映し出し、静れもなく最初に表現します。最近の子どもの特徴として目立つのは、①普段はおとなしく目立たない普通の子ども、②暴力的(キレル)、③自己表現方法の未熟、④コミュニケーション能力の欠如、⑤自分の感情のコントロールができない、などです。最近の子どもたちは、暴力化の傾向が強くなり、従来の常識では理解できない言動が多々あります。家族や他人に危害を加える形で、子どもたちは何かを訴えているのだらう。

そして、もうひとつの表現として、不登校、引きこもり、校内暴力です。これらの症状は、大人に何かを問いかけていないと受け取る必要があるのだらう。

大人が気づいていない現代社会のひずみに対して、警告を発しているのだらう。大人は、早く気づいて、自分が変わり、社会を変えていかなければならないでしょう。



# 合併効果5億4000万円減

黄金地区で計画していた下水処理事業が、市町村合併効果で事業費を約5億4000万円削減できる見通しになりました。とりの旧鶴引町の下水処理場など公共下水道を利用できるようになり、「農業集排水事業」で新設予定だった下水処理場が不要となったため、施設の維持費も年間1000万円程度削減できる見込みです。しかし、集排水水を利用する予定だった地域の住民は、公共下水道への変更で負担が増えるケースが多くなるため、市は、負担を軽減するための条例改正の検討を始めた。

# 「がん対策基本法」が成立

日本のどこでも、高度ながん治療を受けられる体制に実現を目指す「がん対策基本法」が、6月16日に国会で成立しました。

厚生労働省が公表した人口動態統計では、昨年のがん死者数は32万人。3人に1人が、がんで亡くなっています。本市の、平成16年中の死者数は1,695人、そのうち、がんで亡くなった方は513人で、30.3%です。

新法では、国が患者や家族、有識者の意見を聞いたうえで、がんに関する「基本計画」を策定するように義務付けました。それに、情報の収集提供体制整備のために「がん登録」（山形県は1974年から開始しています）も規定されました。この法律と併せて、急速な進歩を遂げている治療法により、がん患者の2人に1人が治る時代になっているので、私は、鶴岡市の市民の健康を守るために、がん対策にも力を注ぎます。

# 議会傍聴のススメ

市議会の様子を知るにはいくつかの方法があります。

まず、毎定例会終了後に発行される「市議会だより」で知るという方法があります。視覚障害者のためにカセットによる「声の議会だより」も作成しています。もっと詳しく知りたいという人には、議会での本会議のやり取りがインターネットの中継と、ホームページで動画を閲覧もできます。

さらに、お勧めしたいのが、実際に議会を傍聴してみることです。議会は、総括質問・一般質問などが公開されていて、誰でも傍聴することができます。

傍聴手続きは、当日直接、市役所内の4階の議会事務局受け付けへ行き、氏名・住所を記入するという簡単なものです。その際、例えば飲食や拍手の禁止といった傍聴規則が渡されるので、ルールに沿って傍聴しましょう。開始時刻に行かなくても、途中で退席しても、いつでも出入り自由です。

一般質問とは、あらかじめ通告した内容を所定の持ち時間内で市長などの執行当局に対して行うものです。「質問」といっても、知らないことを訊くわけではありません。議員自らが事前に案件（問題）を十分に調査し、論議構成した主張と意見をもとに、執行当局をたずねるものです。一般質問には、執行機関の政治姿勢を明らかにし、結果的に、現行の政策を変更、是正させ、新規政策を採用させる効果があります。議員にとっても、幅広く自治体の仕事について取り上げることができる一般質問という機会は、選挙で公約した政策を公開の場で議論し、実現して行く重要な場です。

市民の皆様にとって、傍聴とは、議員たちがまさに議会で仕事をしている姿を直接見ることのできる貴重な機会です。

ぜひ一度、傍聴席から、市議会の雰囲気を生で味わって見てください。



5月24日 鹿兒島市立大瀬小学校訪問



5月24日 鹿兒島市立成中学校訪問

# 一人当たり老人医療費が3番目に低い

厚生労働省の「老人医療事業年報」によると、平成14年度の一人当たり老人医療費が、全国平均736,512円、山形県平均625,140円、鶴岡市は603,169円で、全国第1位の長野県596,480、第2位の新潟県617,439円について低い。全国平均より133,343円、山形県平均より21,971円低い金額です。これは、本市の「基本健康診査」の受診率が、平成15年度88.07%、平成16年度85.4%と高く、予防効果が現れているものと思われます。



5月25日 天神祭りにて

# 中心市街地をにぎわう商店街と

5月31日に、改正「中心市街地活性化法」が国会で可決成立しました。これは、いわゆる「まちづくり3法」の中の一つが改正されたもので、改正では、中心市街地の活性化に関する基本理念を明確にし、国、自治体、事業者の責務規定を創り、活性化を推進する多様な民間が参画する「中心市街地活性化協議会」を法定化し、国に本部を置き、意欲的に取り組むまちの計画を国が認定し、支援するものです。これから鶴岡は、市と事業者と地域住民の連携で、コンパクトなまちで、中心市街地がにぎわう商店街にしましょう。

# 熊本県はユニバーサル・デザインの最先進地

熊本県は、平成12年度から取り組みを始め、県がいち早く方針を打ち出し、平成13年度に「振興指針」を策定し、それに向けて、市町村が鋭意取り組みを進め、市民一人ひとりがそれを理解し、いわゆる県と市町村、県民が一体となってユニバーサル・デザイン（UD）を進めているところに感銘を受けました。平成19年2月には、熊本県内にて第4回ユニバーサルデザイン（UD）全国大会開催に向けて、いままでもよりさらに充実していくものと確信しました。ぜひ、私達の鶴岡市もユニバーサルデザインによる「福祉のまちづくり」を進めて行きたい。

# 鹿兒島市の人づくり施策

鹿兒島市と本市は、昭和44年に兄弟都市の盟約を結びました。西郷南洲翁と普賢秀候との縁により、固い絆で結ばれたまちです。人づくり施策は、市民の幅広い各階代表45人からなる「教育を考える市民会議」によって、「市民発」かこしまの子どもの育ちを育む「柱」と題する提言は、教育問題について、市民が市民に対して提言をした画期的なものでした。その方針が、西郷南洲翁の時代からの「郷中（こまちゅう）教育」と呼ばれる住民組織があり、それが、現在のまちの中の小さい単位に設置してある公民館の生涯学習活動と学校教育が一体となって、南州翁の時代の良伝統が今も生き永らえて、地域コミュニティの中で「人づくり」と「まちづくり」が進められています。



6月22日 鹿本県立こども教育センターを視察



8月25日 おさむかし祭りのついでに研究会を開催

# 児童虐待の現状と対策を研究

同僚の山中議員と一緒に主宰する「次世代育成政策研究会」の第4回例会を6月22日に開催し、本市の児童虐待の現状について、最初に社会児童課から説明を受け、そのあと参加した議員が対策を論議し、政策研究をしました。



# 一人の手

- 1 一人の小さな手、何もしないけど、それでも、みんなの手をあわせれば何かできる。何かがある。
- 2 一人の小さな手、何もしないけど、それでも、みんなの手を握りあわせれば何かできる。何かがある。
- 3 一人の小さな手、何もしないけど、それでも、みんなの手を握りあわせれば何かできる。何かがある。
- 4 一人の手で、握りあわせれば何かできる。何かがある。
- 5 一人の手で、握りあわせれば何かできる。何かがある。
- 6 一人の手で、握りあわせれば何かできる。何かがある。

# 鶴岡市重要施策決定

5月19日に当局から、県に対する平成19年度の重要施策の説明がありました。全部で43項目からなり、主なものは合併市町村に対する支援、パイオクラスター形成の推進、出羽三山地域の世界遺産登録の推進、中心市街地商店街活性化対策、農家の経営所得安定対策、羽越本線の高速化、つるおかの養老生福祉の促進などで、健康福祉関係では、老朽化養老老人ホーム整備、県立総合療育訓練センター庄内支所の充実、県立鶴岡病院の早期改築などです。